

弥栄大橋 個別補修計画



令和4年度版

架橋箇所



岩国市美和町百合谷～広島県大竹市後飯谷

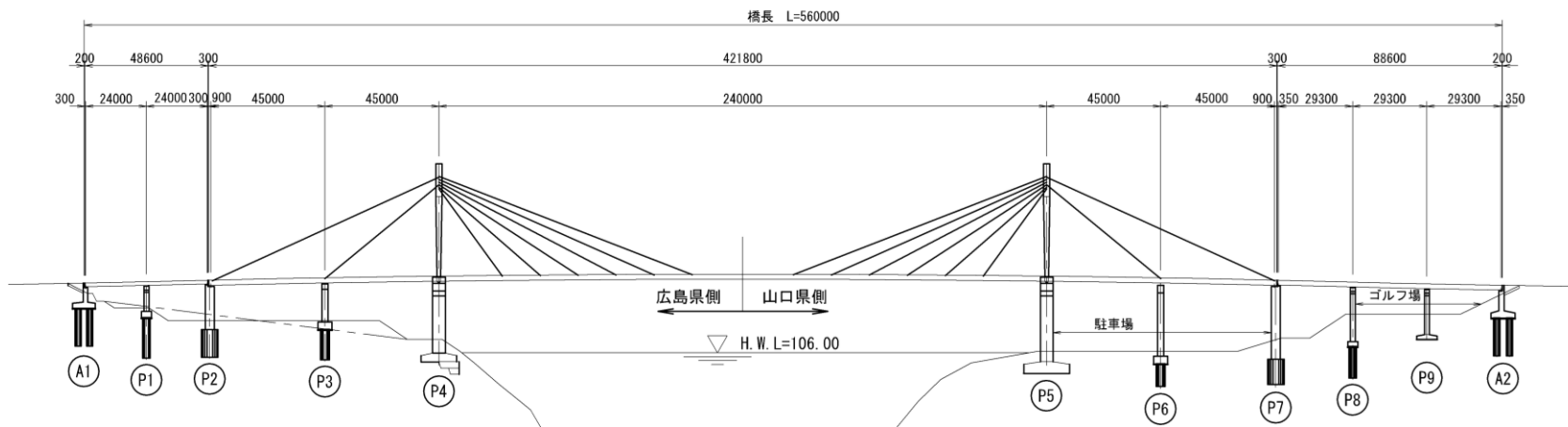
(緯度34.23911, 経度132.14620)

「この地図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである」

■ 橋梁諸元

管理事務所	山口県岩国土木建築事務所 広島県西部建設事務所廿日市支所	橋種	鋼橋
路線名	一般県道大竹美和線	径間	10径間
橋長	560.0m	上部工形式	鋼鈹桁（第1-2径間、第8-10径間） 鋼箱桁、鋼斜張橋（第3-7径間）
幅員	11.2m（全幅員）	下部工形式	逆T式橋台（A1, A2） 張出橋脚（P1, P4, P5, P8, P9） 矩形柱壁式橋脚（P2, P3, P6, P7）
架橋年	1985年（昭和60年）	基礎工形式	杭基礎（A1, P1, P3, P6, P8, A2） ケーソン基礎（P2, P7） 直接基礎（P4, P5, P9）
交差物件	弥栄湖、ゴルフ場、駐車場		

至 広島県側（起点側） 至 山口県側（終点側）



■計画期間

- ・100年

■計画の見直し

- ・10年以内

■維持管理方針

- ・「予防保全型」維持管理

■部材毎の維持管理方針

鋼	上	部	工	予	防	保	全	支	承	予	防	保	全		
下	部	工		予	防	保	全	ケ	一	ブ	ル	予	防	保	全
基	礎	工		事	後	保	全	伸	縮	装	置	予	防	保	全
高		欄		事	後	保	全	排	水	装	置	事	後	保	全
舗		装		事	後	保	全								

■維持管理上の留意事項

・斜張橋（第3-7径間）

- 斜材ケーブルの腐食、被膜材・補修材の劣化



斜材ケーブル (KR4-5) : 補修材の損傷



斜材ケーブル (KR4-4) : グラウトのひびわれ

■維持管理上の留意事項

・斜張橋（第3-7径間）

- ケーブル定着部の腐食
- ケーブルのクリープや下部工・支承の損傷に伴うケーブル張力の変動



斜材ケーブル (KR4-5) : 定着部の腐食



P7橋脚 : 支承の腐食

■維持管理上の留意事項

・ 支承部

- 伸縮装置からの漏水及び橋座部箱抜き部の滞水に起因する鋼材の腐食



P2支承：支承の腐食



P2支承：支承の腐食



P7橋脚：伸縮装置からの漏水



P7橋脚：鋼材の腐食



P7橋脚：橋座部箱抜き部の滞水



P8支承：支承の腐食

■点検計画

- ・ 山口県橋梁点検要領（案）、広島県橋梁定期点検要領に基づき、5年に1回の頻度で点検を実施

※地震など緊急時については、適宜実施

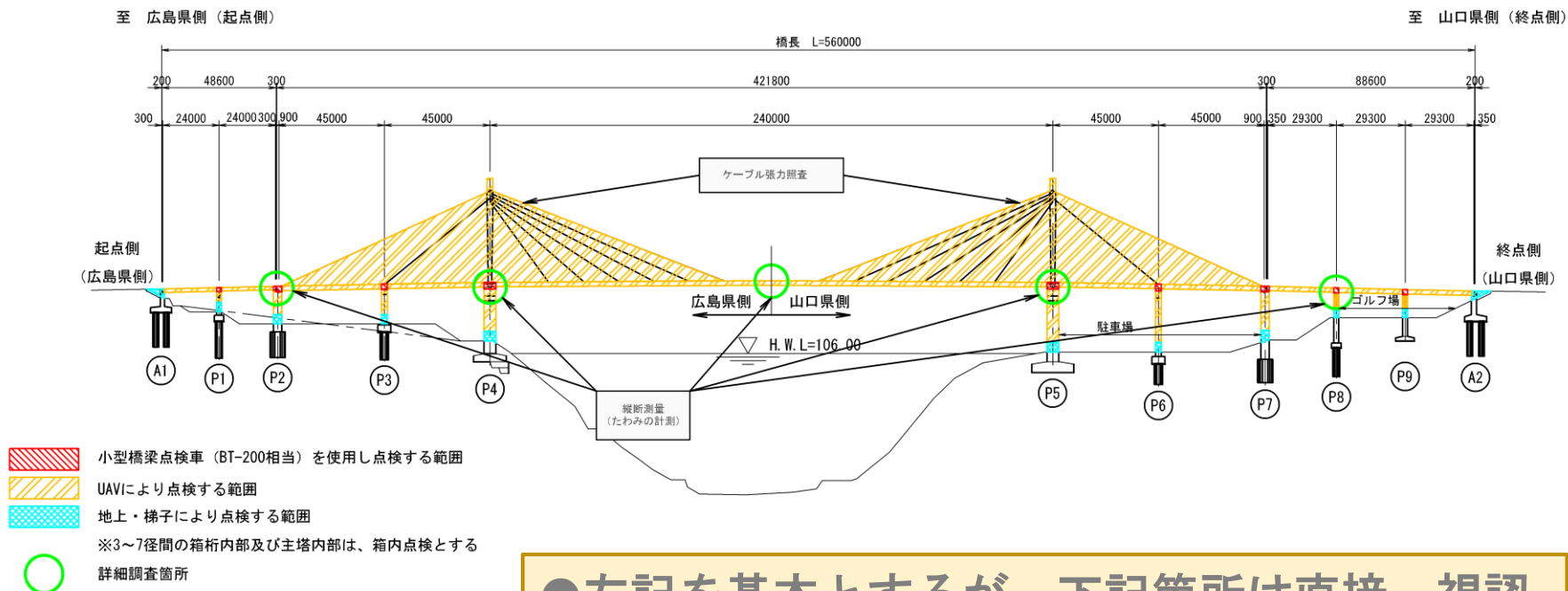
- ・ 橋の状態を定期的に把握するため、デジタル技術を活用し、データを蓄積

■調査計画

- ・ 鋼斜張橋について5年に1回の頻度で点検時に縦断測量（ケーブル張力のばらつきによる上部工の変形確認）、ケーブル張力測定を実施

■点検・調査方法

弥栄大橋側面図

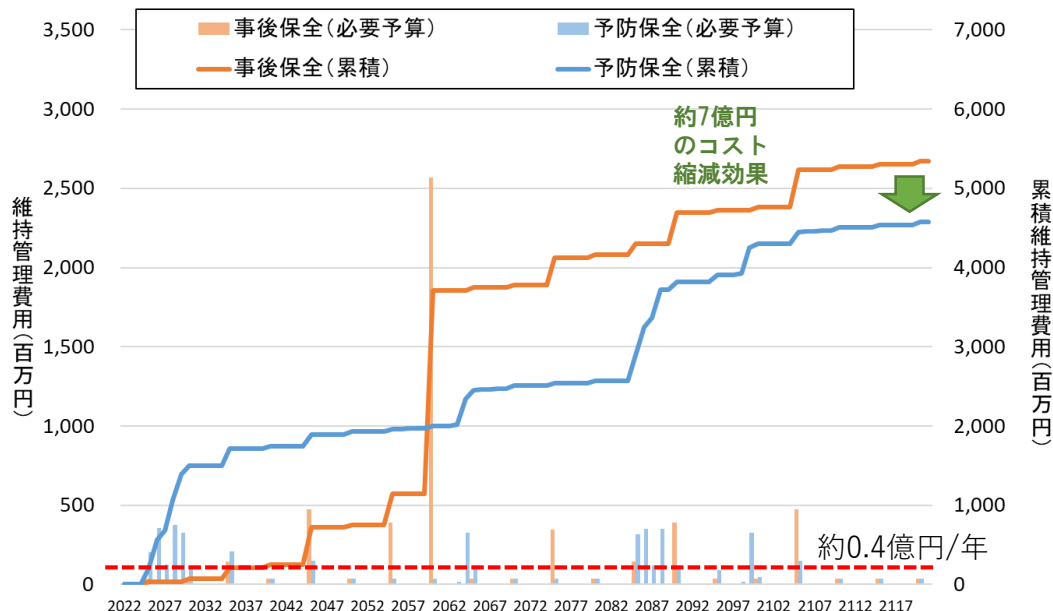


●ドローンによる
全体の点検

●左記を基本とするが、下記箇所は直接、視認等により点検を実施する

- 容易に視認できる箇所
- 橋座部
- ドローンにより視認できない箇所及び損傷
- 損傷の程度等により必要と判断される箇所

■ 予算



■ 予算の平準化

■ 100年間で
維持管理費
約7億円の
削減効果

■ 安全

■ 架橋環境、構造特性
(斜張橋)に応じた
確実な点検、調査

■ 異常箇所
の
早期発見